

袋詰式サンドドレーン工法の採用によりコスト縮減

工事名：二線堤内ノ浦地区築堤工事

概要：二線堤事業施工地区は、層厚が最大30mに及ぶ粘土層が主体となった軟弱地盤であることから、無対策による盛土を実施した場合、沈下終了まで約80年を要することから、盛土の沈下対策として圧密促進工法で、経済性・施工性・工期短縮に優れた「袋詰式サンドドレーン工法」を採用しコスト縮減を図った。

効果： 従来工法：サンドドレーン工法 → 新工法：袋詰式サンドドレーン工法

地盤沈下によるドレーンの切断を袋詰式とすることで解消し、ドレーン機能を確保
4本同時に施工が可能なることにより、施工期間が短縮。

袋詰式サンドドレーン工法を採用することにより、従来工法の113百万円から
100百万円に縮減。

(縮減額 13百万円、縮減率 約5%)

ドレーンの連続性



施工期間の短縮

